

2020年12月25日

スポーツを止めるな「青春の宝」プロジェクト ロンドンオリンピック銅メダル西山将士さんが 高校生にエールを送りました

当社団では学生たちの『思い出の試合』に、トップ選手たちが本格的な解説と実況を付けてプレゼントする『青春の宝』プロジェクトを進めています。

今回は群馬県立勢多農林高等学校柔道部から応募された試合映像に、ロンドンオリンピック銅メダリストの西山将士さんが解説を付けてプレゼント。

12月上旬に同校にて行った上映会にサプライズで西山さん本人が登場すると、生徒たちから大きな歓声があがりました。

西山さんから、新型コロナウイルスの影響で夏の大会が中止となったまま引退を余儀なくされた3年生や、県の予選を勝ち抜いたものの全国大会が中止となってしまった在校選手に向けて熱いメッセージを届けました。

上映会后、西山さんは柔道着を着て選手たちと交流し、質問を受けながら指導を行いました。



対象試合：「第42回全国高等学校柔道選手権大会群馬県予選」

解説・実況はSports Zone株式会社（代表：谷口廣明）との連携・協力のもと実施しています。

<主将・選手・顧問のコメント>**勢多農林高校柔道部 3年生 小林冬馬（こばやしとうま/前主将）**

これから社会人になるので、今日の話を参考にしながら柔道を続けていきたいと思います。

勢多農林高校柔道部 2年生 唐木田優斗（からきだゆうと）

先輩が最後の試合をできなくて、後輩の自分もとても悔しい思いをしたのですが、西山さんに試合の解説や指導をしていただき、自分も含めてとても身になって勉強になりました。

（西山さんがおっしゃっていたように「柔道だけでなく、私生活でもきちんとしていくこと」を意識して）私生活も、柔道もきちんとして見直して、県の選手権予選や総体を勝ち抜くことを目標に頑張っていきたいと思います。

勢多農林高校柔道部 2年生 城代鈴佳（きのしろりんか）

自分の良いところや悪いところを教えていただいたので、これからの試合や練習に使えるように、頭の中で考えながらしっかり練習していきたいなと思います。

これから、頑張っって全国でも活躍できるような選手になりたいと思います。

勢多農林高校柔道部 副顧問 井上速見（いのうえはやみ）

コロナ禍で生徒たちは十分に練習や試合ができなかったのですが、これを期に残り少ない時間ですが練習に励めば、コロナ禍が終息した時にはとても良い練習、良い試合ができるかと思っています。

今日はありがとうございました。

解説者プロフィール



西山将士（にしやままさし）

山口県下関市出身。1985年生まれ。

6歳の時、柔道に出会い高校3年でインターハイ優勝をきっかけに日本代表として活躍。その後、2012年ロンドンオリンピックに出場し-90kg級にて準々決勝で敗れたが敗者復活戦を勝ち上がり3位決定戦で延長戦の末、旗判定で勝利して銅メダルを獲得。

2016年1月現役引退を正式に発表し、現在はビジネスパーソンとして活躍する傍ら、柔道指導・試合解説を務める。

<報道におけるお願い>

メディア様でお取り上げ頂く際は、可能な限り当社団のロゴもしくはコミュニケーションロゴをご使用頂きますようお願い申し上げます。



社団ロゴ

#スポーツを止めるな

コミュニケーションロゴ

<問い合わせ>

取材申し込み、活動内容へのお問い合わせ窓口はこちら。

info@spo-tome.com